

横河電機株式会社

2021年3月期 第3四半期
決算説明会

取締役 専務執行役員 経営管理本部長
穴吹 淳一

2021年2月9日

1. 2021年3月期 第3四半期 連結決算の概要と 通期業績予想 P. 4

2. 決算補足資料 P. 14

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残高

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

3. 参考資料 P. 22

FY20基本方針／制御ビジネス金額別受注推移／制御事業のソリューション

トピックス／注力業種 再生可能エネルギーへの取り組み

YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

■ 第3四半期実績：売上は減収、営業利益は減益

- サマリー : 売上はCOVID-19や為替影響等により、減収
営業利益は主に減収により、減益
四半期純利益は前年同期にのれん等減損損失を計上した反動で、増益
- セグメント別 : 制御 減収減益
(除・為替および子会社譲渡影響：受注15.1%減、売上5.9%減、営業利益4.7%減)
計測 増収減益
航機その他 減収減益
- 地域別 : 全地域で厳しい受注環境の中、中南米が健闘
- 業種別 : COVID-19の影響や昨年度の大口の反動を受け、
エネルギー関連業種は厳しい状況

■ 通期業績予想：減収減益予想（修正なし）

- 2020年11月4日に公表した通期連結業績予想から、変更なし
※為替レート：1USD=105円と想定（変更なし）

■ 配当予想：年間配当金34円（修正なし）

2021年3月期 第3四半期 連結決算の概要と通期業績予想

決算サマリー（前年同期比）

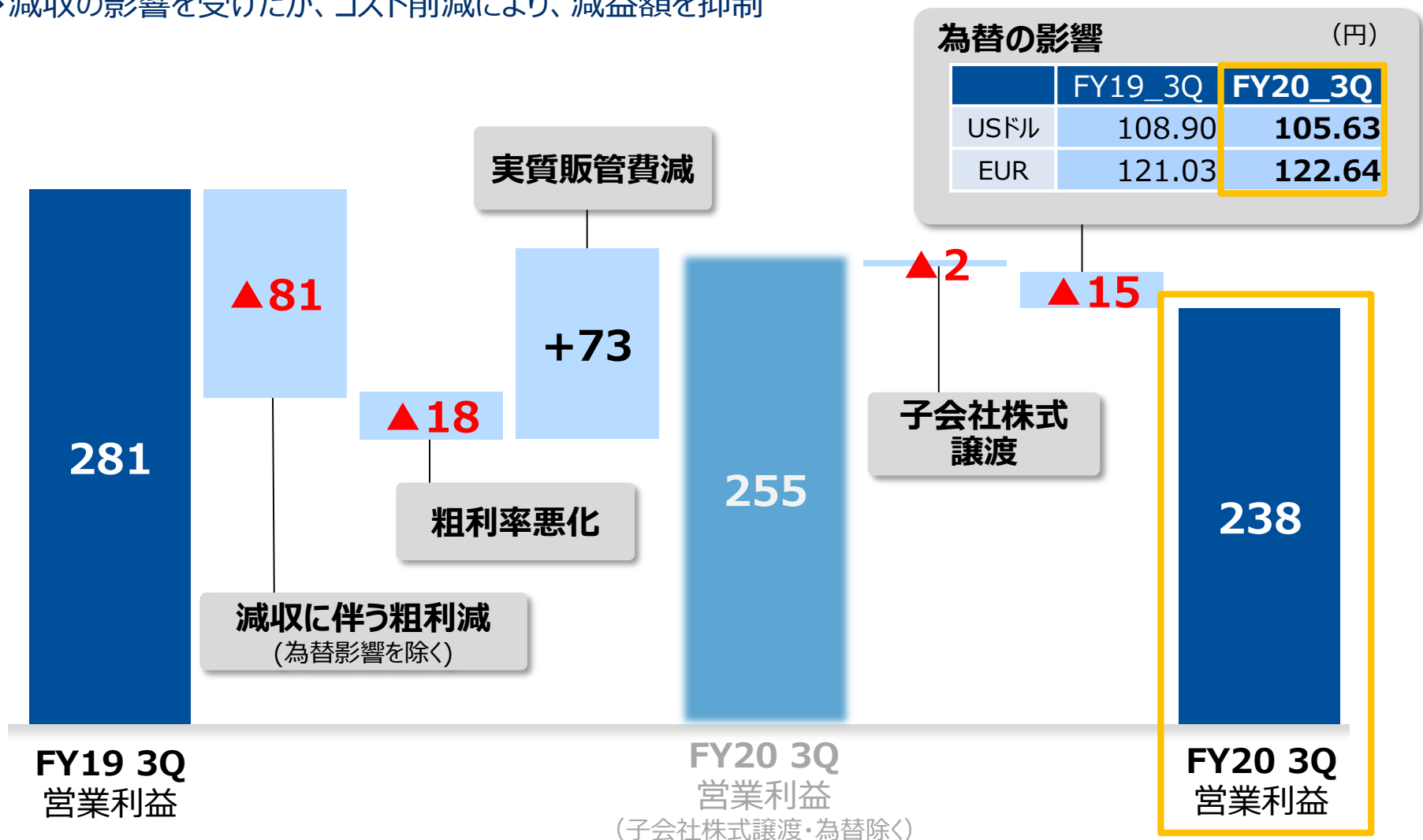
- ◆受注・売上 : 受注は**減少**（除・為替および子会社譲渡影響▲14.0%）
売上は**減少**（除・為替および子会社譲渡影響▲6.1%）
- ◆営業利益 : 営業利益は主に減収により**減少**
- ◆四半期純利益 : 四半期純利益は前年同期にのれん等減損損失を計上した反動で**増益**（億円）

	FY19 1Q-3Q	FY20 1Q-3Q	差 異	増減率	為替および 子会社譲渡影響
受 注 高	3,084	2,551	▲533	▲17.3%	▲107
売 上 高	2,973	2,697	▲276	▲9.3%	▲97
営 業 利 益	281	238	▲43	▲15.3%	▲17
ROS(%)	9.5	8.8	▲0.7pt	—	—
経 常 利 益	282	252	▲30	▲10.6%	▲17
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	125	167	+42	+34.0%	▲16
EPS(円)	46.76	62.68	+15.92	+34.05%	—
為替レート 1米ドル=	108.90円	105.63円	▲3.27円	—	—

営業利益分析（前年同期比）

◆減収の影響を受けたが、コスト削減により、減益額を抑制

(億円)



セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 受注・売上は、COVID-19や為替影響等により減少
(除・為替および子会社譲渡影響 : 受注▲15.1%、売上▲5.9%)
営業利益は、主に減収により減益
(除・為替および子会社譲渡影響 : ▲13億円、▲4.7%)
- ◆ 計測事業 : 売上は堅調だが、ライフイノベーション事業における先行投資の影響等で、増収減益
- ◆ 航機その他事業 : 航空関連機器需要の低迷などにより、減収減益

制 御

計 測

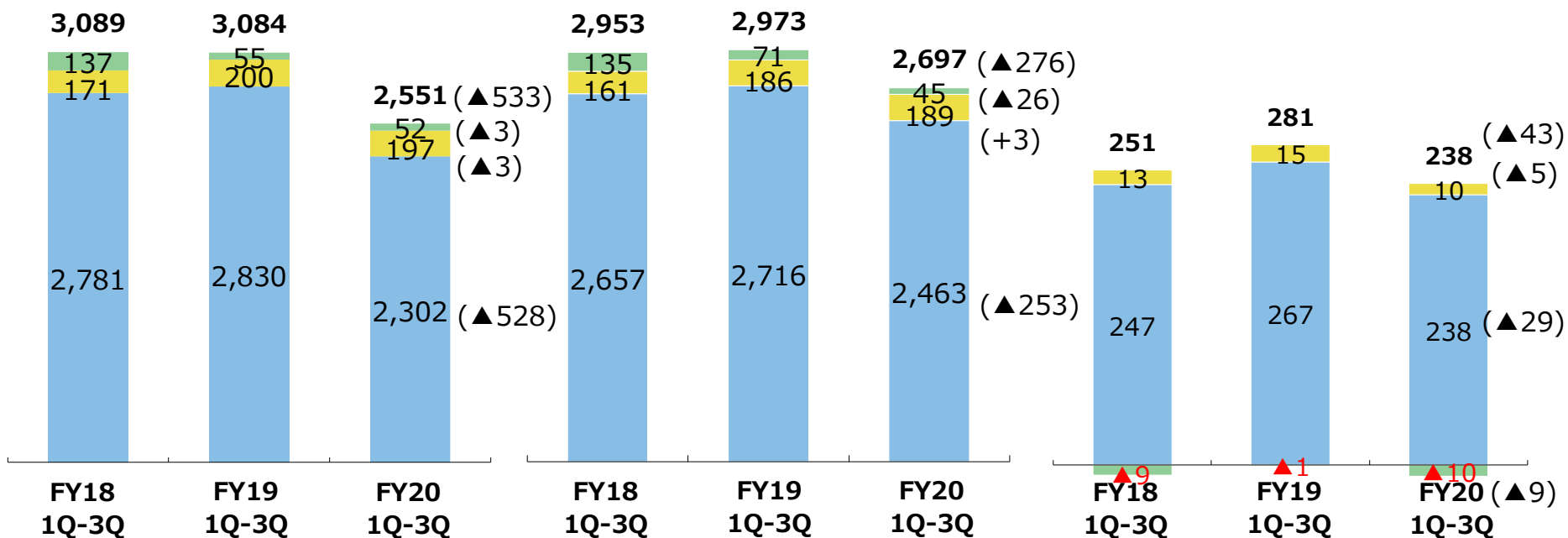
航機その他

(億円)

受注高

売上高

営業利益



制御地域別 受注・売上高

◆受注：COVID-19や為替影響等を受け減少したが、中南米は増加(除・為替および子会社譲渡影響：▲424億円、▲15.1%)

◆売上：COVID-19や為替影響等を受け減少(除・為替および子会社譲渡影響：▲159億円、▲5.9%)

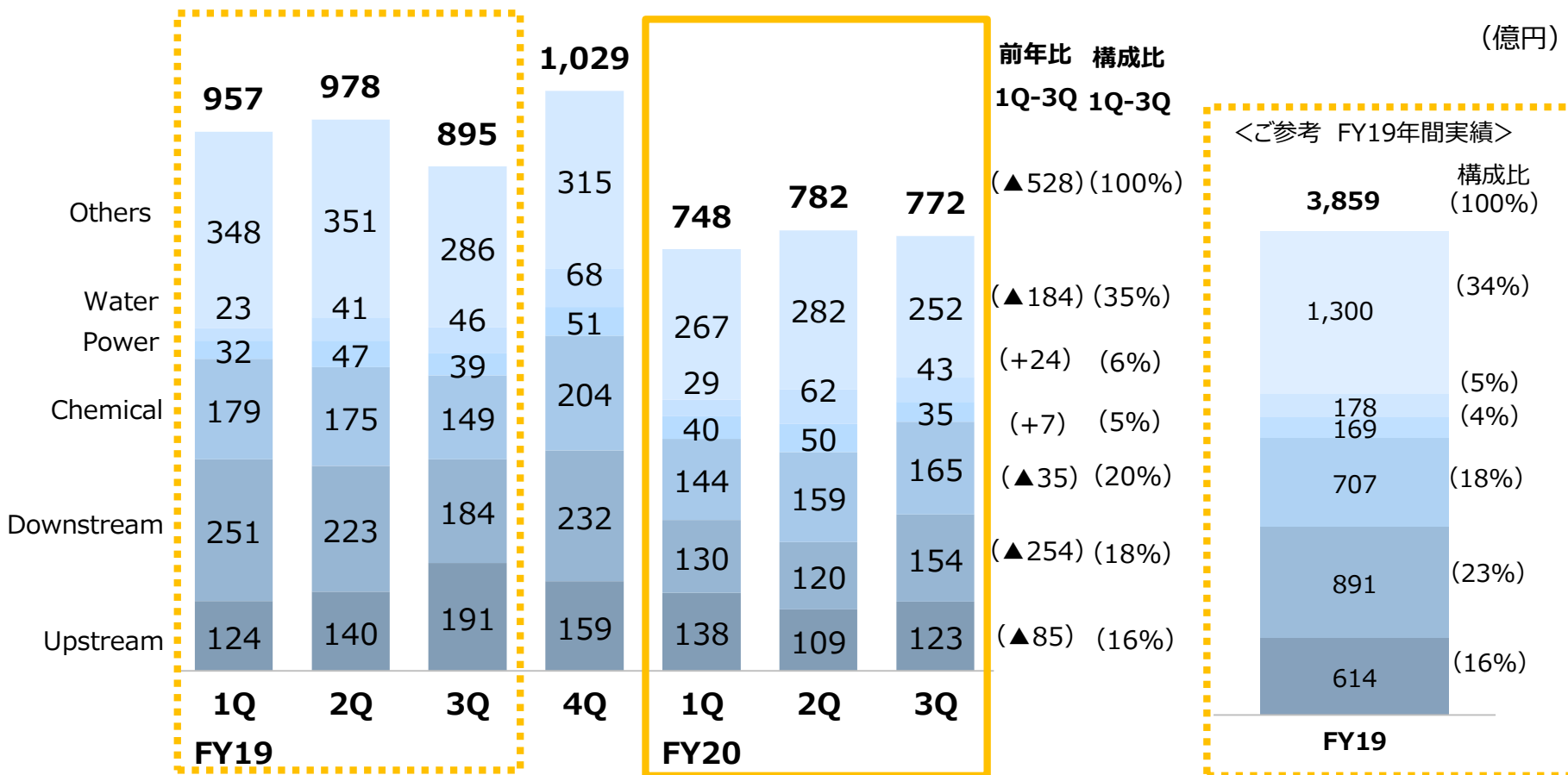
(億円)

受注高	FY19 1Q-3Q (A)	FY20 1Q-3Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	814	741	▲73
アジア	915	778	▲137
(東南アジア・ 極東)	(455)	(382)	(▲73)
(中国)	(334)	(312)	(▲22)
(インド)	(126)	(84)	(▲42)
欧州・CIS	360	267	▲93
中東アフリカ	438	293	▲145
北米	229	133	▲96
中南米	74	90	+16
海外小計	2,016	1,561	▲455
合計	2,830	2,302	▲528
為替レート 1米ドル=	108.90円	105.63円	▲3.27円

売上高	FY19 1Q-3Q (A)	FY20 1Q-3Q (B)	前年同期比 (B-A)
日本	755	733	▲22
アジア	913	832	▲81
(東南アジア・ 極東)	(470)	(425)	(▲45)
(中国)	(333)	(326)	(▲7)
(インド)	(110)	(81)	(▲29)
欧州・CIS	373	302	▲71
中東アフリカ	391	305	▲86
北米	219	228	+9
中南米	65	63	▲2
海外小計	1,961	1,730	▲231
合計	2,716	2,463	▲253
為替レート 1米ドル=	108.90円	105.63円	▲3.27円

制御業種別 受注高

◆ COVID-19の影響や昨年度の大口の反動を受け、エネルギー関連業種は厳しい状況



FY20業績予想（修正なし）

- ◆2020年11月4日に公表した通期連結業績予想から、変更なし
- ※為替レート：1USD=105円と想定（変更なし）
- ※原油価格：\$30～\$40/バレル程度で推移と想定（変更なし）

(億円)

	FY18実績 (A)	FY19実績 (B)	FY20予想 (C)	前年比 (C-B)	伸長率 (C÷B-1)	
受注高	4,320	4,187	3,600	▲587	▲14.0%	
売上高	4,037	4,044	3,750	▲294	▲7.3%	
営業利益	346	356	300	▲56	▲15.7%	
ROS(%)	8.6	8.8	8.0	▲0.8pt	-	
経常利益	368	363	300	▲63	▲17.4%	
税引前利益	384	258	290	+32	+12.4%	
法人税等	100	111	100	▲11	▲9.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	284	147	190	+43	+29.4%	
EPS(円)	106.54	55.02	71.18	+16.16	+29.4%	
為替レート	1米ドル=	111.07	108.96円	105円	▲3.96円	-

セグメント別 受注・売上・営業利益 予想（修正なし）

制 御

計 測

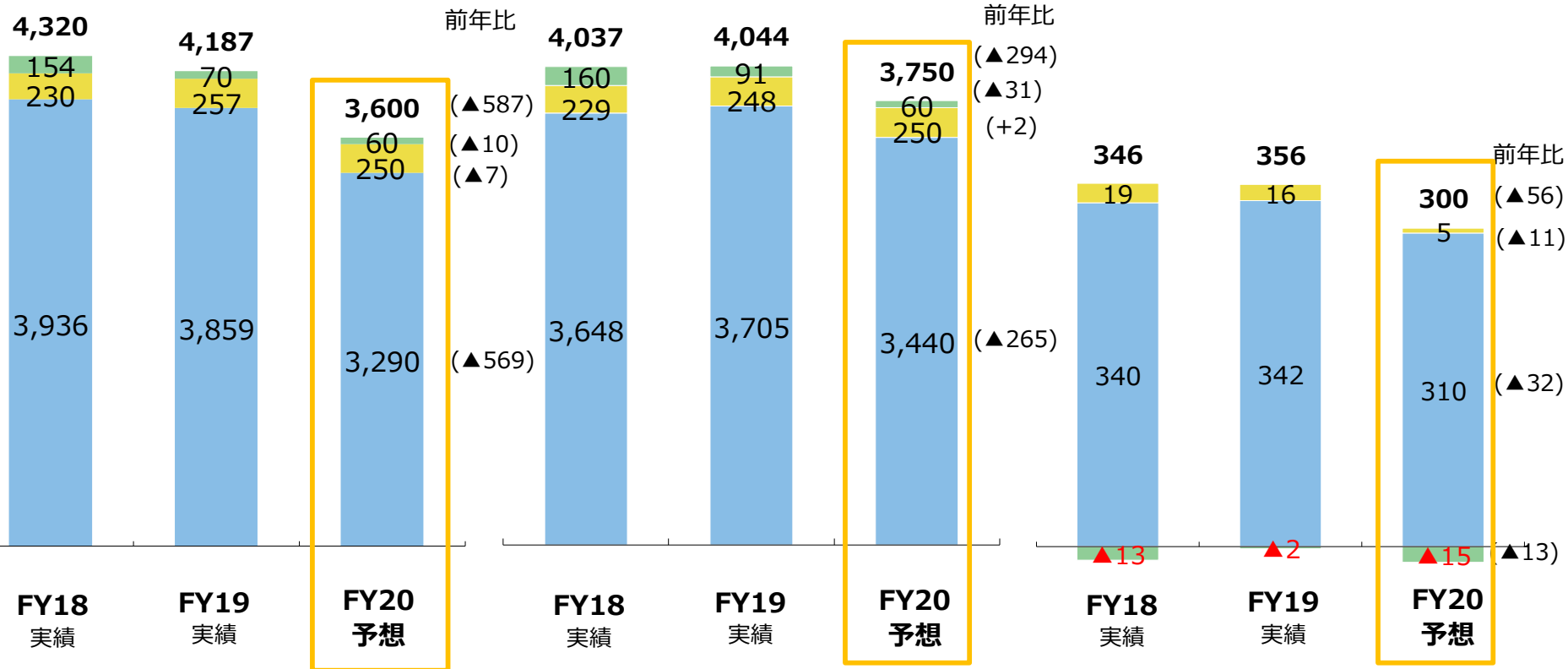
航機その他

(億円)

受注高

売上高

営業利益



制御地域別 受注・売上高 予想（修正なし）

(億円)

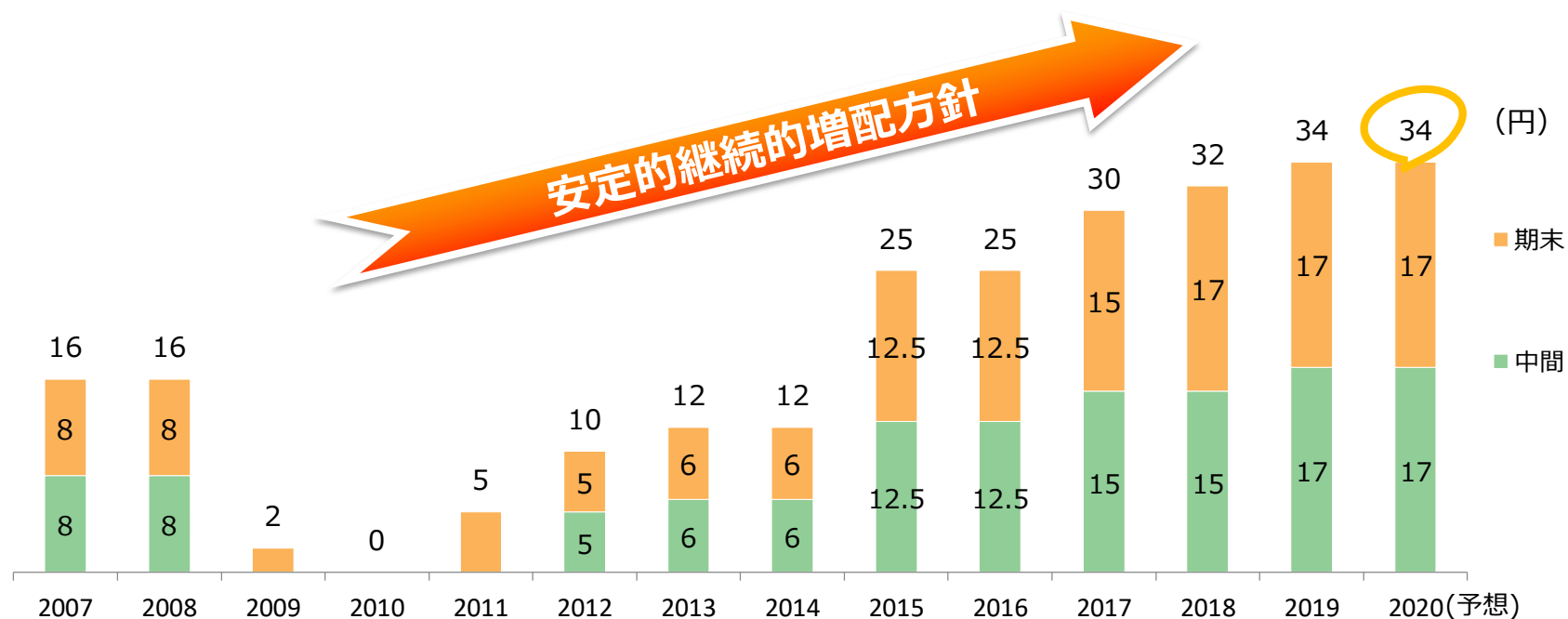
受注高	FY19 実績 (A)	FY20 予想 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,154	1,095	▲59
アジア	1,227	1,095	▲132
(東南アジア・ 極東)	(628)	(560)	(▲68)
(中国)	(423)	(425)	(+2)
(インド)	(176)	(110)	(▲66)
欧州・CIS	497	390	▲107
中東アフリカ	568	400	▲168
北米	322	210	▲112
中南米	91	100	+9
海外小計	2,705	2,195	▲510
合計	3,859	3,290	▲569
為替レート 1米ドル=	108.96円	105円	▲3.96円

売上高	FY19 実績 (A)	FY20 予想 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,098	1,085	▲13
アジア	1,184	1,095	▲89
(東南アジア・ 極東)	(619)	(540)	(▲79)
(中国)	(425)	(455)	(+30)
(インド)	(140)	(100)	(▲40)
欧州・CIS	500	410	▲90
中東アフリカ	541	460	▲81
北米	294	300	+6
中南米	88	90	+2
海外小計	2,607	2,355	▲252
合計	3,705	3,440	▲265
為替レート 1米ドル=	108.96円	105円	▲3.96円

<変更なし> 年間配当金は過去最高配当額を継続

FY19 : 34円 (配当性向61.8%)

FY20 : 34円 (配当性向47.8%)



決算補足資料

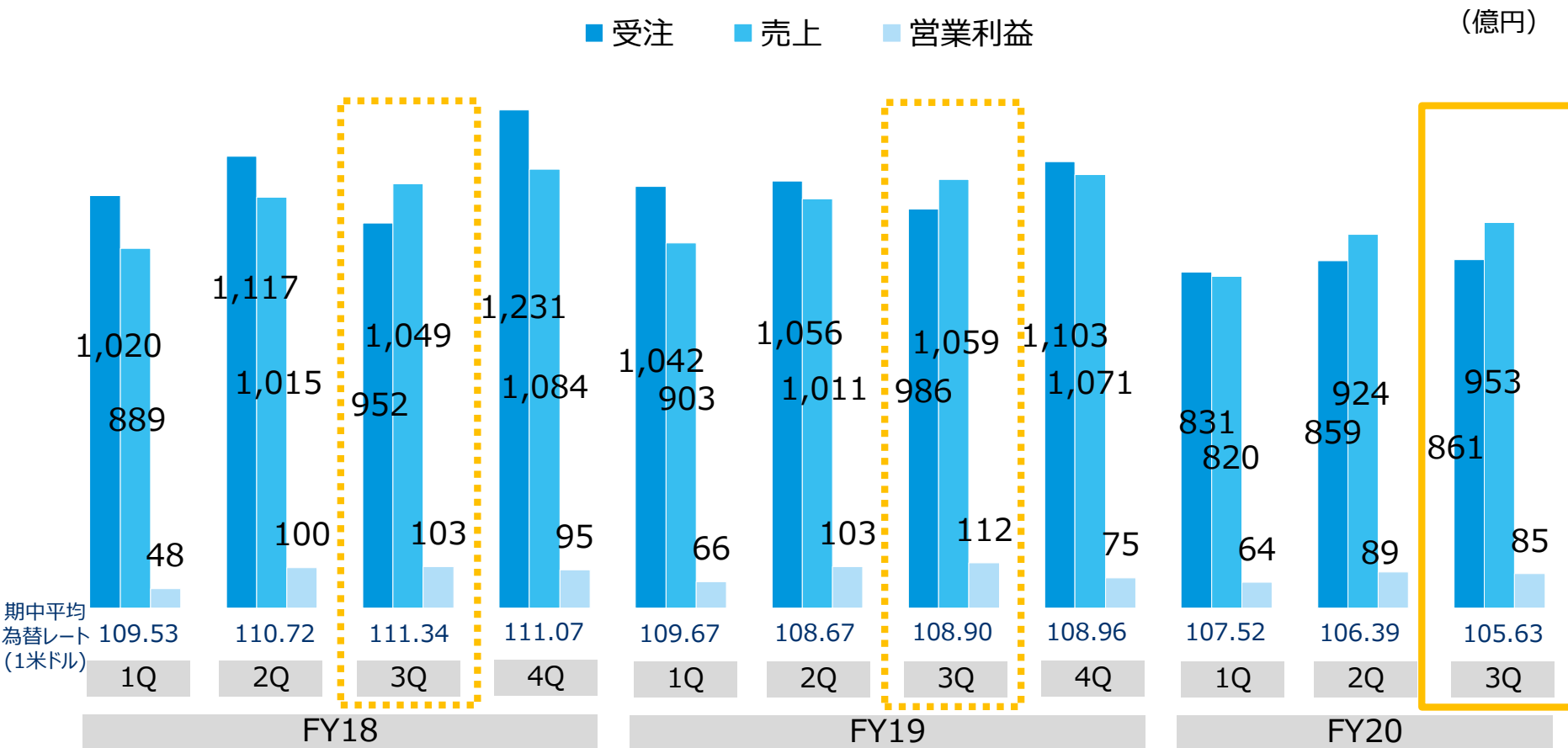
- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向

子会社譲渡の影響額

FY19 年間 受注：▲28億円 売上：▲20億円 営業利益：▲2億円

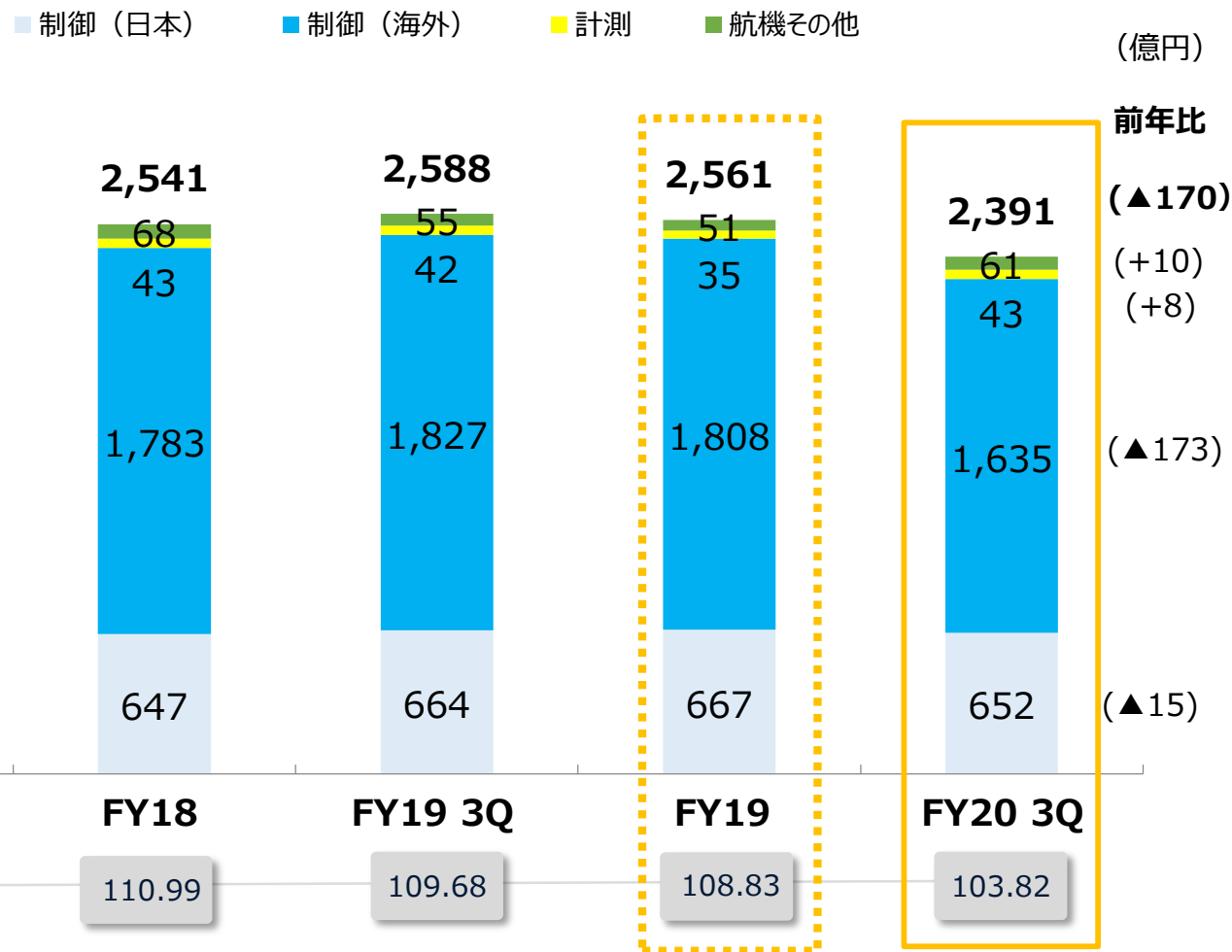


補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY19_1Q-3Q	FY20_1Q-3Q
営業利益	281	238
営業外収益	28	27
営業外費用	27	14
経常利益	282	252
特別利益	27	1
特別損失	89	16
税引前利益	220	237
法人税等	95	70
親会社株主に帰属する 四半期純利益	125	167
(税負担率)	37.2%	23.5%

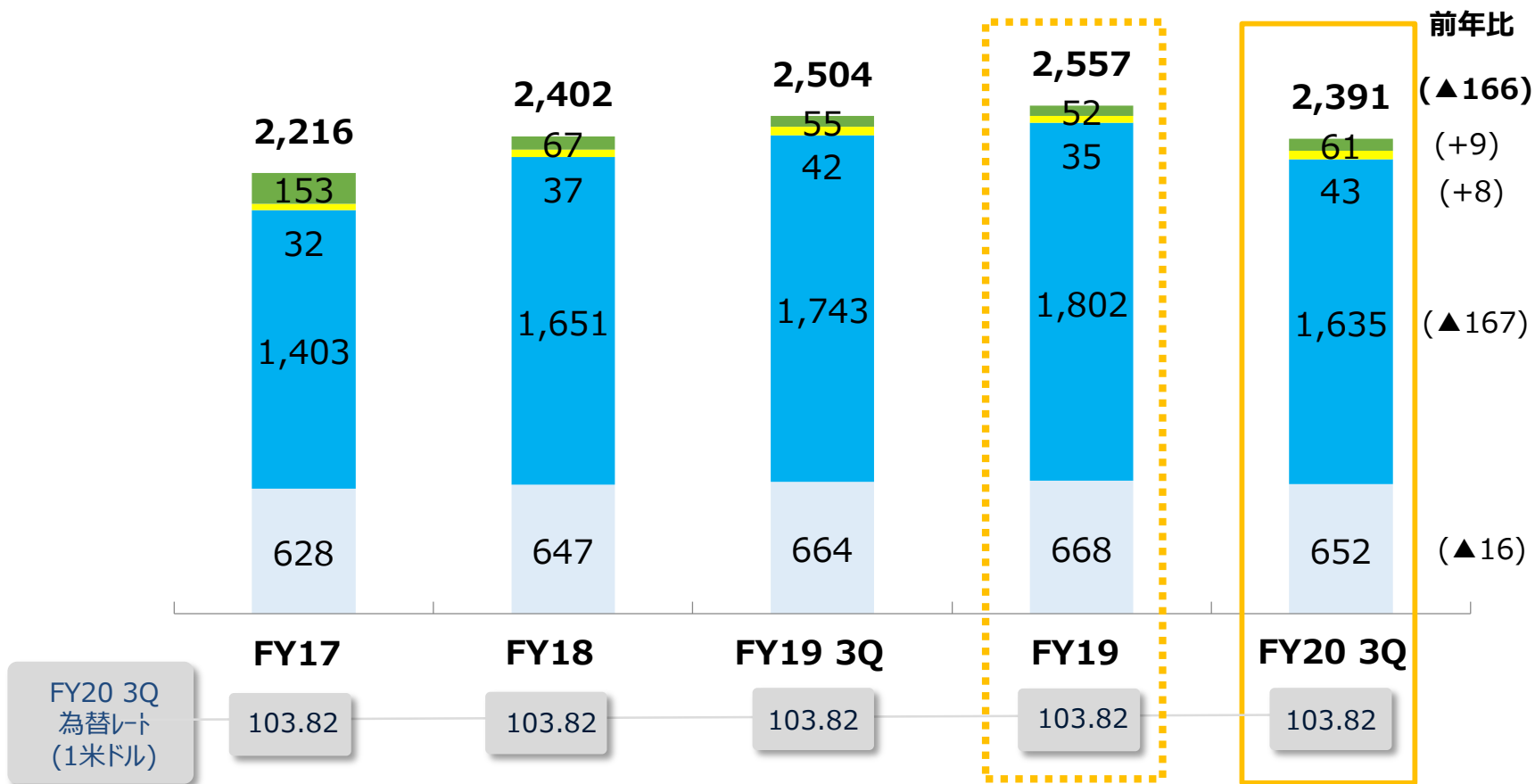
補足：セグメント別 受注残推移



*セグメント区分を精緻化し、FY19の数字を見直しました

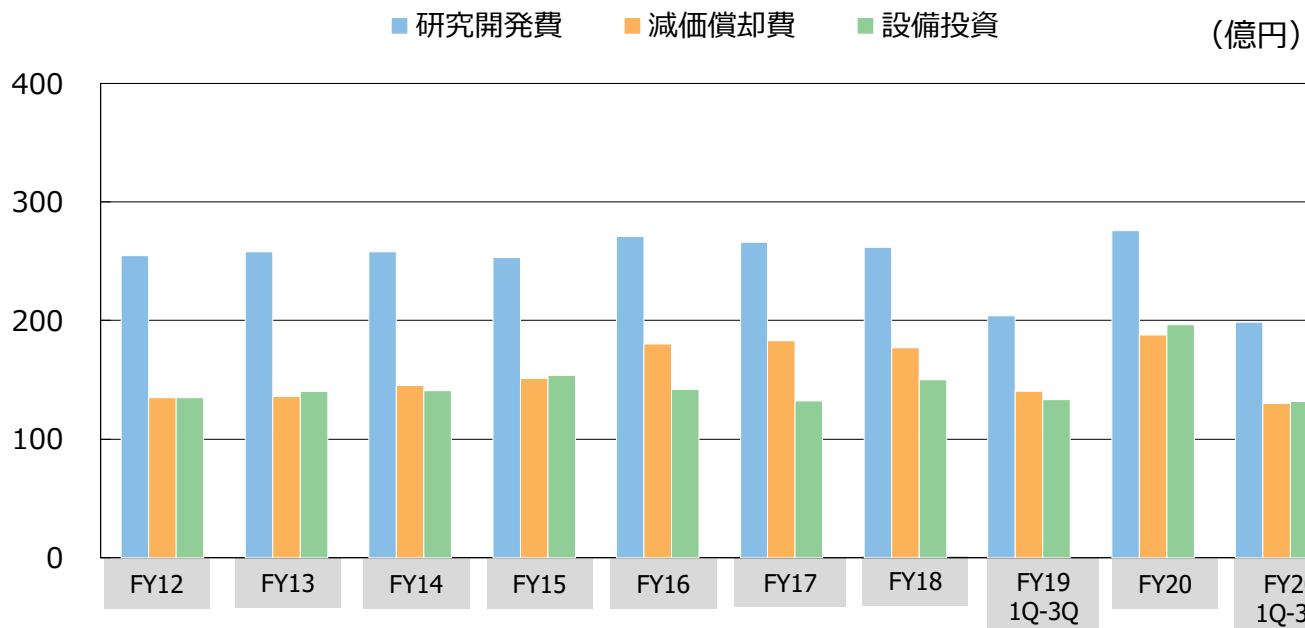
補足：セグメント別 受注残推移 * FY20 3Q期末為替レート換算

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他 (億円)



*セグメント区分を精緻化し、FY19の数字を見直しました

補足：研究開発費・減価償却費・設備投資

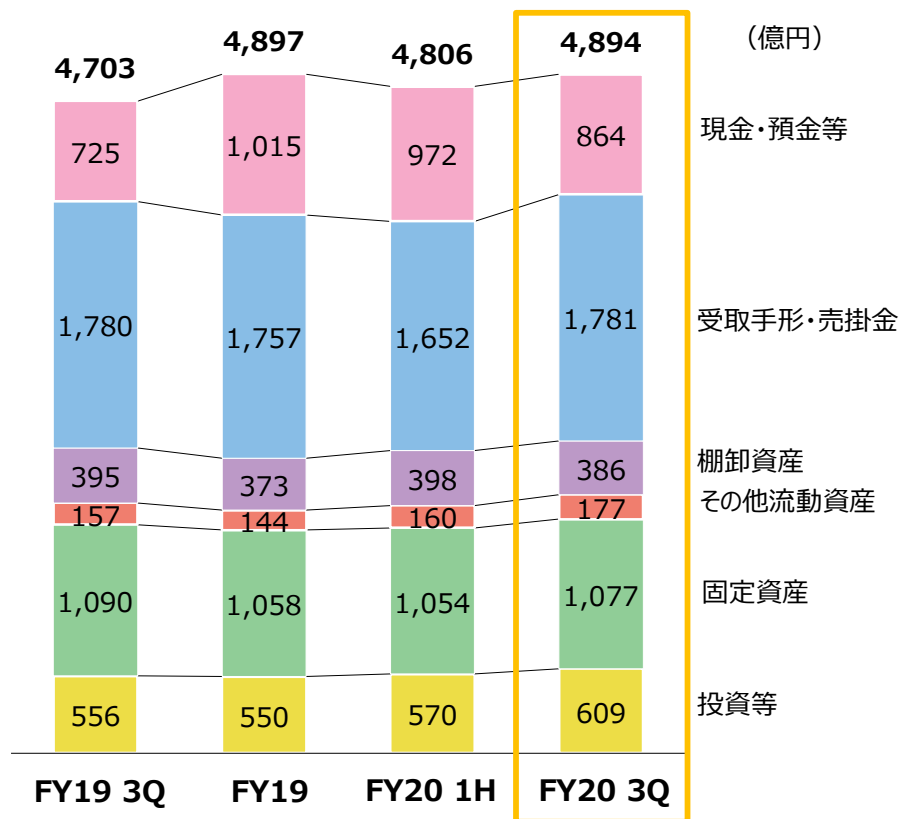


	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19 1Q-3Q	FY19	FY20 1Q-3Q
研究開発費 (対売上高比率)	255 7.3%	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	204 6.9%	276 6.8%	199 7.4%
減価償却費 (対売上高比率)	135 3.9%	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	140 4.7%	188 4.6%	130 4.8%
設備投資 (対売上高比率)	135 3.9%	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150 3.7%	*133 4.5%	196 4.9%	132 4.9%

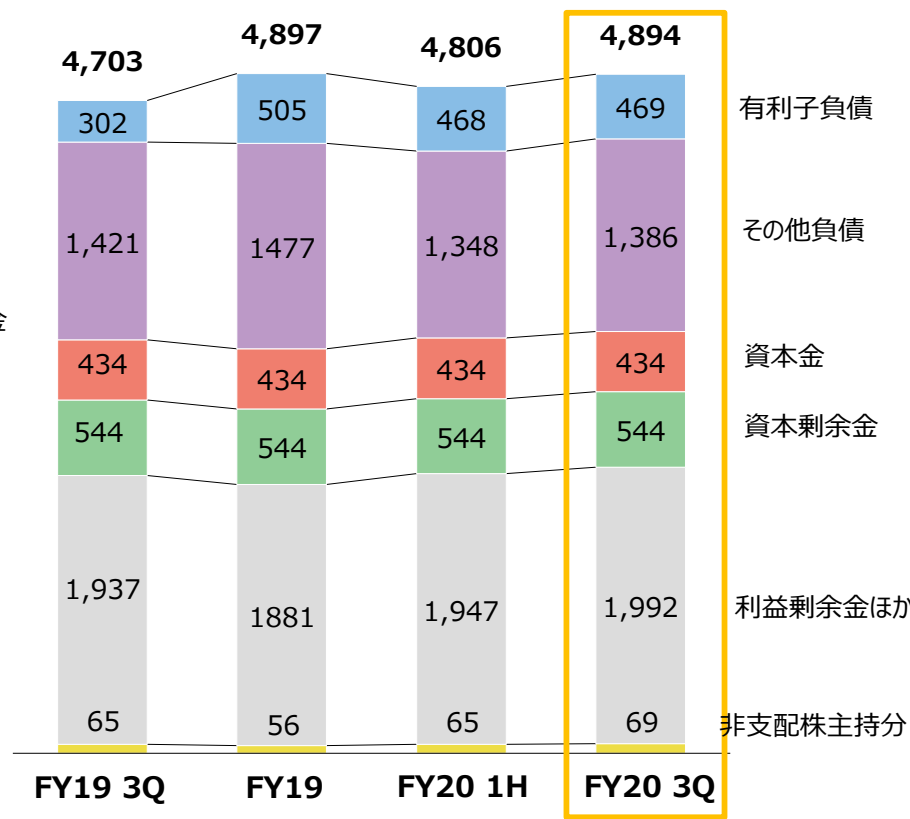
*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

補足：貸借対照表

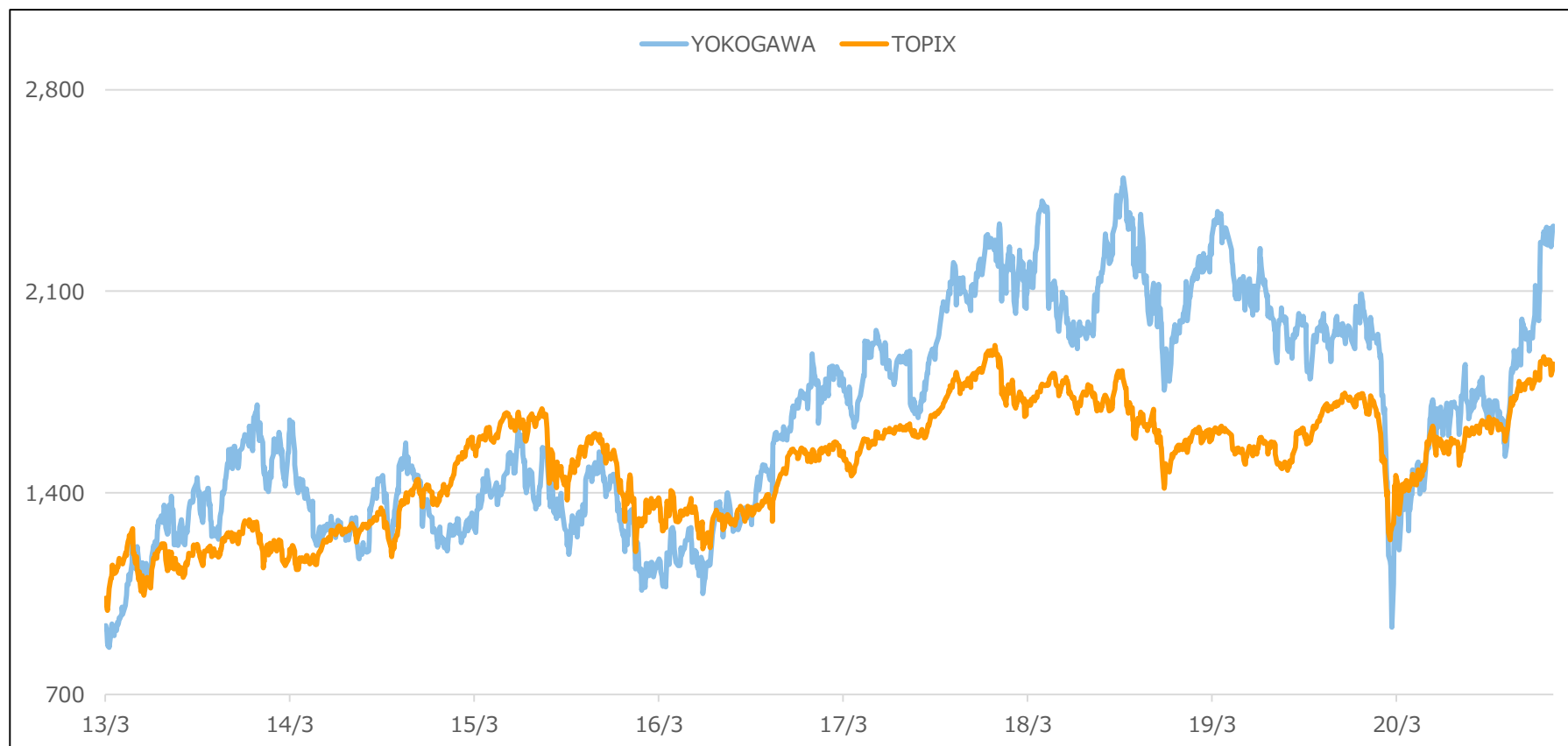
資産



負債・資本



補足：株価の状況



(円)

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6	20/9	20/12	21/2/2
Yokogawa	946	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	2,112	1,977	1,929	1,303	1,680	1,665	1,588	2,327
TOPIX	1,035	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,551	1,588	1,721	1,403	1,559	1,625	1,611	1,847

参考資料

- ・FY20基本方針
- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・制御事業のソリューション
- ・トピックス
- ・注力業種 再生可能エネルギーへの取り組み
- ・YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

ご参考：FY20基本方針〈変更なし〉

◆以下のアクションプランを含め、**TF2020の加速**(施策の完遂と効果の刈り取り)に注力する

- ① TF2020施策の優先順位の設定および見直し
- ② グループ全体最適に向けたさらなるコスト削減
 - ・ 不急の費用執行禁止
 - ・ リモートワークなど働き方の変化を含む費用最適化 など
- ③ 強靱な財務力の堅持
- ④ ウィズコロナ社会を見据えた構えの構築
 - ・ **社会ニーズの変化への対応**

**安全安心、セキュリティ、生産性・最適化向上、
遠隔化、自律化 (IA2IA) が促進される社会
や産業への要求は大きな機会**

(ご参考)

YOKOGAWA IR DAYを開催

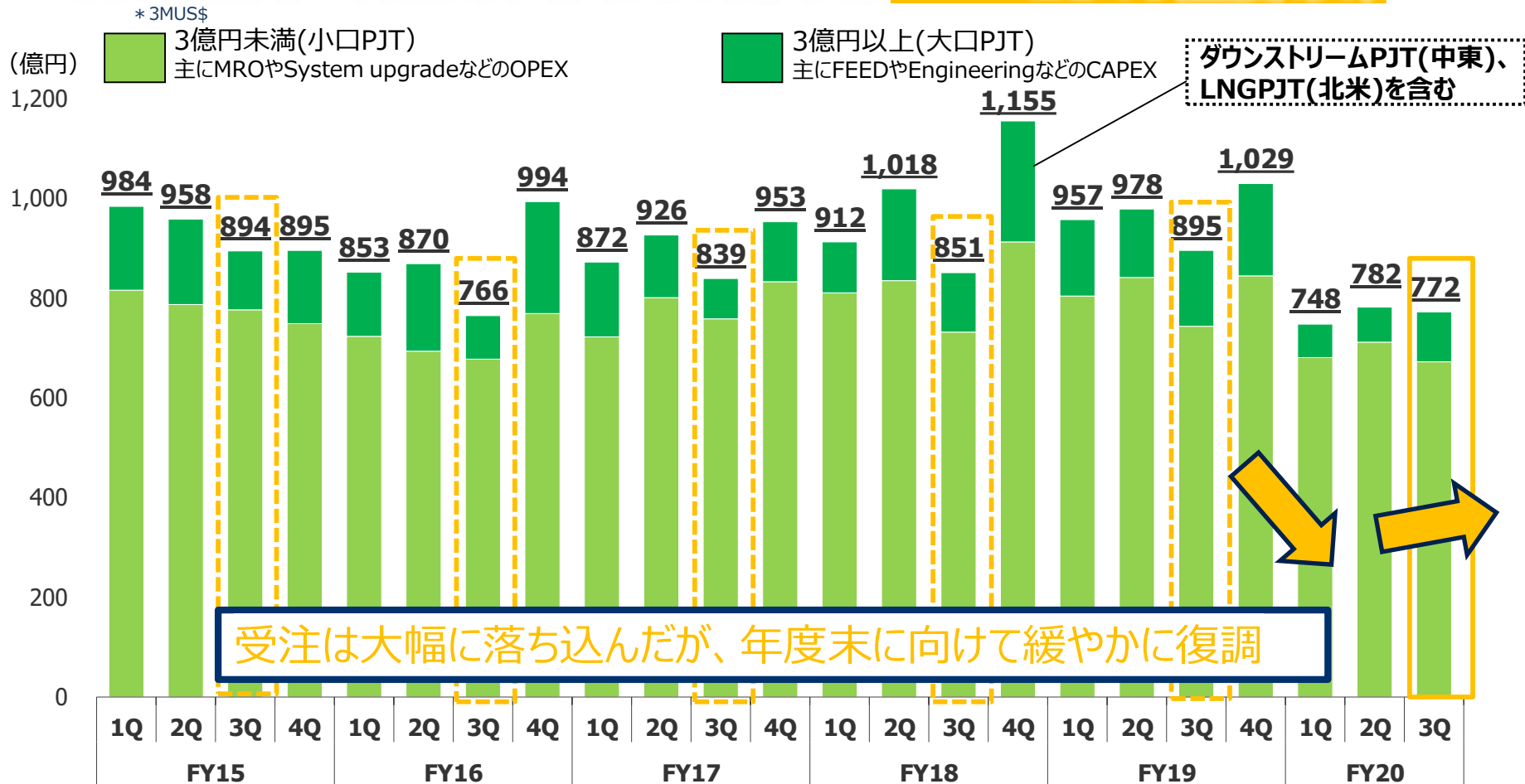
「IA2IA」をテーマに、世界の動向、お客様の課題、YOKOGAWAの取り組みについてご説明

[説明会資料Link](#)



ご参考：制御ビジネス金額別受注推移 <更新>

約3億円*以上の大口PJT比率は10～15%程度のみ



USD	FY15				FY16				FY17				FY18				FY19				FY20		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
	121.8	121.8	121.6	120	108.5	102.9	107.6	109	111.4	111.3	111.8	110.7	109.5	110.7	111.3	111.1	109.7	108.7	108.9	109	107.52	106.39	105.63

ご参考：制御事業のソリューション<変更なし>

“Automation Supplier”から“Trusted Partner”へ



Operational Technology



Information Technology

ご参考：トピックス (11/5～2/9) <更新>

11月

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス (DJSI World) の構成銘柄に初選定
YOKOGAWAサステナビリティレポート2020を発行 [Link](#)



ペプチド医薬品原薬製造のペプチスター株式会社に出資、業務提携契約も締結

Power Factors社と再生可能エネルギーアセットパフォーマンス管理プラットフォームの再販契約を締結(P.27)
～「センサからエンタープライズまで」太陽光と風力発電、蓄電池設備に対応した管理ソリューションの提供が可能に～

12月

InSphero社とパートナーシップ契約を締結
～三次元培養モデルを用いたハイコンテンツアナリシス (HCA) による創薬研究を支援～

気候変動対策とウォーターシュワードシップにおいて権威ある A スコアを獲得

バイオ・ライフサイエンスに特化したベンチャー投資ファンドに出資
～ライフイノベーション分野の新規事業開発の加速に寄与～

YOKOGAWA IR DAY (IA2IA説明会) 開催 [Link](#)



1月

水道局のポンプ場と産業用蓄電池による神戸ローカルVPP実証を開始
～地域の電力需給バランスを調整、再生可能エネルギーの導入拡大を支援～

インドネシアのラヘンドン地熱発電所向け統合制御システムとサービスを受注(P.27)
～再生可能エネルギーのプロジェクト推進でサステナビリティの取り組みを加速～

2月

Cognite社とVAR契約 (付加価値再販契約) を締結
～多種多様で大量にあるプラント情報に関連性を見出して分析、新たな価値創出を支援～

Net-zero Emissions

風力・太陽光・バイオマス・地熱発電分野でのコラボレーション

Points on business

■ 監視・制御、データ計測、設備保全などのソリューションを提供

■ ノウハウを持つ他社とのコラボレーションなどにより、事業のポートフォリオを拡大

➔ **Power Factors社（米）との提携（2020/12/2）**

太陽光・風力発電および蓄電池なども含めたアセットパフォーマンス管理ソリューション、「Drive」ソフトウェアプラットフォームの販売を開始

関連するSDGs



<低炭素社会実現に向けた取り組み事例>

■ **インドネシア ラヘンドン地熱発電所向け統合制御システムとサービスを受注（2021/1/26）**

- ➔ 地熱発電は、燃料が地上で燃焼されず **二酸化炭素の排出量も最小限**
- ➔ インドネシア政府は、2030年までに **地熱発電量を現在の2100MWから8000MWへ**
- ➔ 腐食性物質対応の**耐久性**や、**遠隔監視・故障診断**など含めた**信頼性**が採用ポイント



ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど <更新>

2021年2月現在

DJSI-World Index (初)
DJSI-Asia Pacific Index
FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index
MSCI ESG Ratings AA
MSCI ESG Leaders Indexes
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数
MSCI 日本株 女性活躍指数
CDP 気候変動対策Aリスト (初)
CDP 水セキュリティ対策Aリスト
SNAMサステナビリティ・インデックス
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2020 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF YOKOGAWA ELECTRIC CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF YOKOGAWA ELECTRIC CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.



本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

横河電機株式会社

財務・IR部 IR課

Email : Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>